

三芳町 まちづくり懇話会

平成30年6月
三芳町

未来につなぐ ひとまちみどり 誇れる町

三芳町第5次総合計画



未来につなぐ
ひとまちみどり
誇れる町



三芳町第5次総合計画

平成28年度(2016)～平成35年度(2023)

2016⇒2023

三芳町は、現在平成28年度以降8年間の計画期間とする

「第5次総合計画」に基づいてまちづくりを進めています。



基本 構想

まちづくりの基本理念

1 協働のまちづくり

第4次総合振興計画で掲げた「協働のまちづくり」の理念は第5次総合計画でも引き継ぎ、さらなる深化を図ります。

財政制約を背景に公助の拡大が難しくなるなか、住民ニーズの多様化・高度化に即応する自助・共助の拡大を図ります。

2 持続可能なまちづくり

地球規模の環境資源制約、国内の財政制約や人口減少社会に対応して、人口や財政の規模をはじめとして身の丈にあった投資による成長や定常的な質的发展をめざします。社会経済財政面を含めて持続可能なまちづくりによって、三芳町のもつ良好な環境を確実に将来世代に継承することを重視していきます。

3 特性・資源を活かすまちづくり

「東京に一番近い町」「昼夜間人口比率が県内トップ」「平地林が支える三富新田の循環型農業」「自然災害が少ない町」など、三芳町の特性や資源を活かし、小さいながらもきらりと輝く独創的で 個性的なまちづくりをめざします。

重点 プロジェクト

サービスの拡大の限界

自治体経営力の向上

「選択と集中」に基づく政策

持続可能なまちづくり

住民がいつまでも
元気に活躍できる
健康長寿のまち
をめざします。

**2健康長寿
プロジェクト**

**3子育て支援
プロジェクト**

子どもをはぐ
くむ力のある地域
社会の実現をめざ
します。

重点
プロジェクト

**4緑の保全・活用
プロジェクト**

**5西の玄関口
プロジェクト**

「西の玄関口」
による**戦略的**
なまちづく
りを展開します。

緑に恵まれた環境
を活かし、**自然**に
ふれあう空間づくり
を推進します。

【緊急重点プロジェクト】
1行財政基盤強化プロジェクト

財政基盤の強化を図り、持続可能な自治体経
営をめざします。

人口38,500人をめざします!

住民基本台帳人口
(平成30年5月末現在)



38,391人

住民基本台帳ベース推計



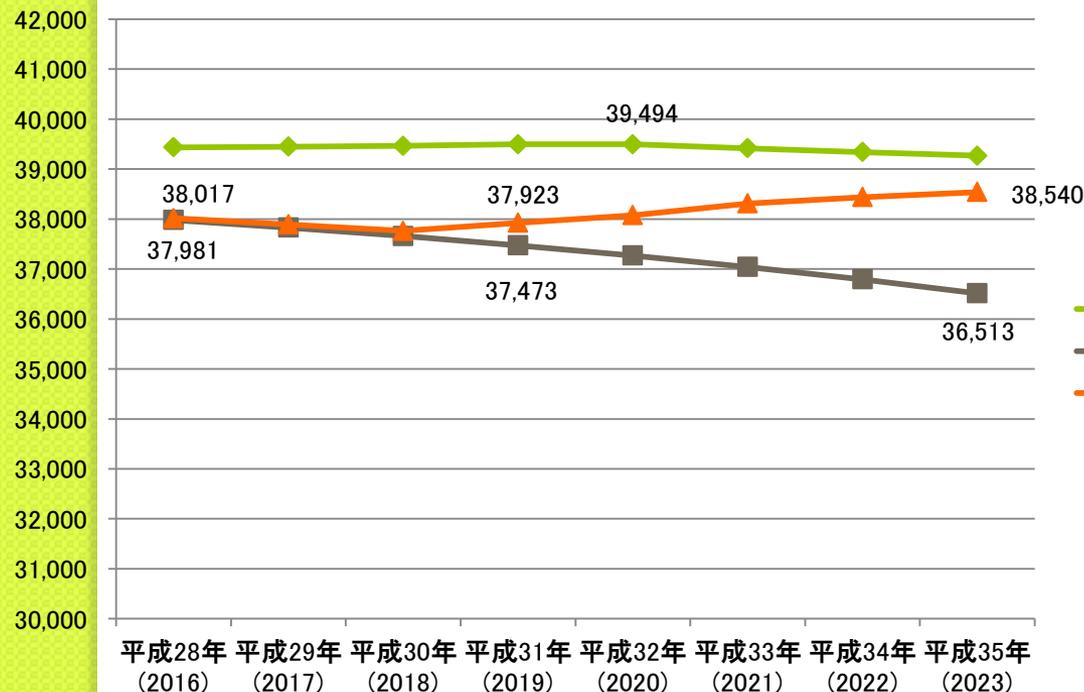
36,500人 (平成35年)

目標人口

(区画整理などの優良住宅の造成等により)



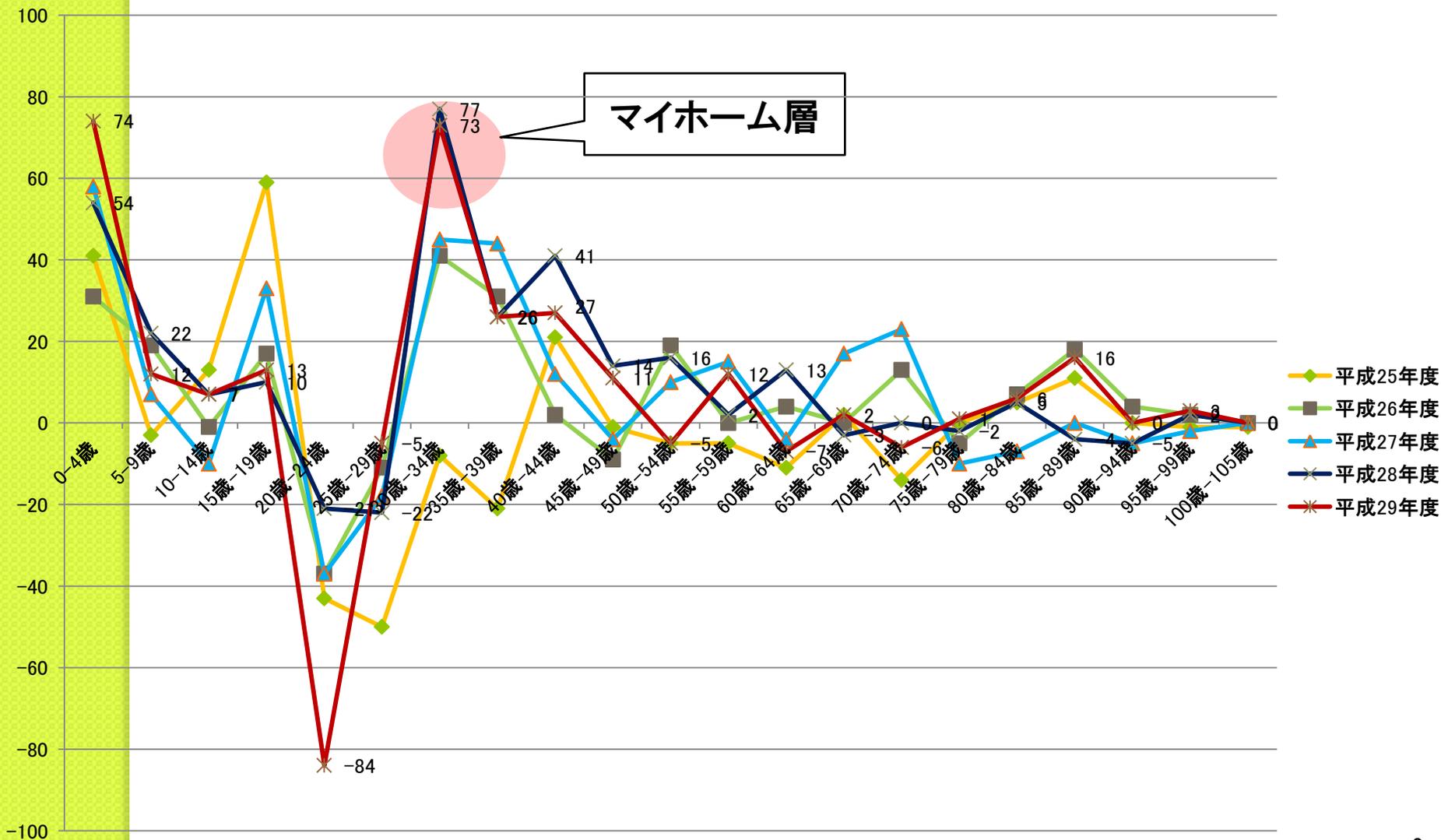
38,500人 (平成35年)



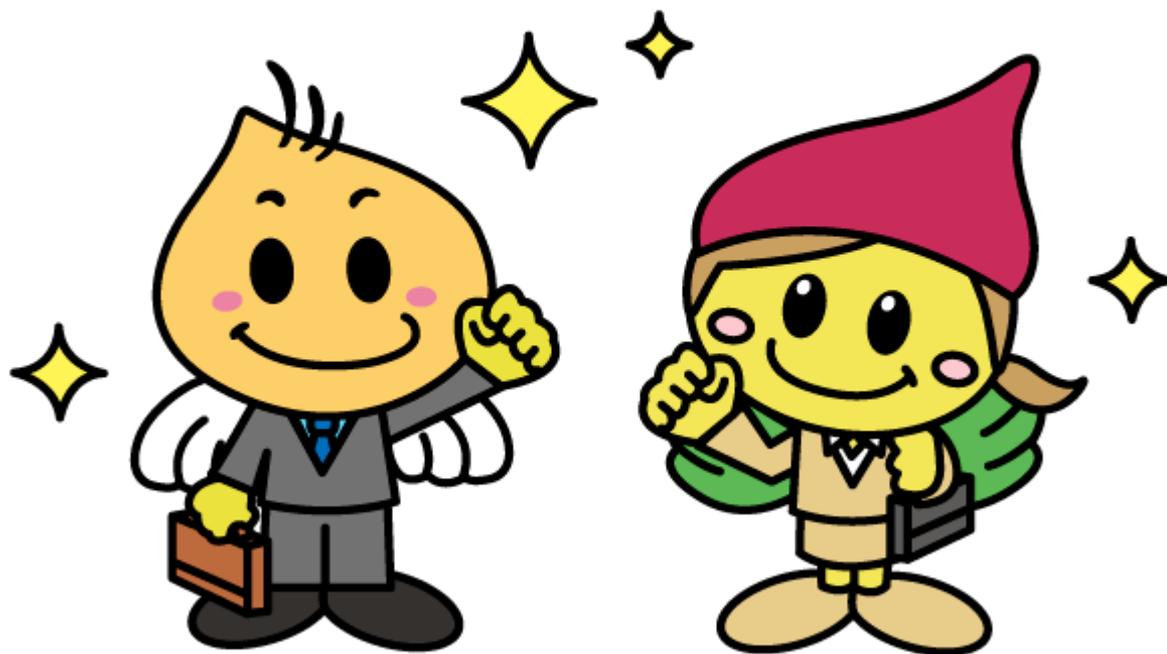
目標人口

人口移動の状況

年齢階級別の人口移動の状況を見ると、20代前半から後半にかけて、転出超過傾向にあり、30代から40代で転入超過傾向にある。



働きにくるまち MIYOSHI



昼夜間人口比率	県内第1位	117.2%
民間事業所数	県内町村第1位	1,683事業所
従業者数	県内町村第1位	27,411人

三芳町のまちづくりの取組について

「まちづくりの方程式」

良い町は良い政策から

政策

より多くの人の
幸せのために対話を重ね

対話

人

多くの住民の皆様が参画する
住民主役のまちづくり

第5次総合計画 3つの基本目標

みんな
未来を
拓くまち



- ・アクティブシニアアプローチ事業
- ・協働のまちづくりネットワーク
- ・自転車安全運転講習

住民との対話重視

・町の政策等の形成過程に様々な形での住民の積極的な参加を促進します。



- ・まちづくり懇話会・町長への手紙・メール 出前町長室
- ・町長のまち・ひと・しごと魅力発見！「事業所訪問」
- ・学校訪問・ワークショップ等

三芳町政策研究所 未来創造みよし塾

～Policy Research Institution of Miyoshi～

町村レベルでは、全国初！



<研究所の役割と成果>

テーマごとにプロジェクトチームを設け、それぞれに必要な調査や研究を行い、問題(課題)を解決するために有用な政策を提言する。

平成23年度テーマ	「自治基本条例」「公共交通」「観光のまちづくり」
平成24年度テーマ	「みどりの保全・活用」「公共交通」「三富新田再生」
平成25年度テーマ	「公共交通」「三富新田再生」「芸術文化」
平成26年度テーマ	「芸術文化」
平成27年度テーマ	「子育て応援」
平成28年度テーマ	「オリンピック・パラリンピック」

- 成果:**
- ・デマンド交通運行事業
 - ・地域公共交通会議の設置
 - ・観光ホームページ・ガイドマップ発行
 - ・世界農業遺産への申請
 - ・ジュニアハンドボールチーム結成
 - ・スイーツコンテスト開催
 - ・体験落ち葉掃きの新人職員研修実施
 - ・自治基本条例検討町民会議



マレーシアとの国際交流



マレーシアのペタリングジャヤ市と姉妹都市提携

- ・ 文化・芸術交流
- ・ 中学生派遣
- ・ 教員相互交流

よみ愛・読書のまち

～本を読みあう喜びを共有できるまちに～

毎月23日を「よみ愛読書の日」と定め、愛と夢と知性の輪を広げます。



年間図書貸出冊数(人口1人当たり)

16年連続 県内第1位

(11.20冊)

図書館では、児童サービス充実に力を注いできました

ブックスタート（平成20年～）

4か月児健診の後で



図書館ぐりぐらタイム
6か月児～の部



ブックスタートプラス
（平成23年～）

2歳歯科健診の後で



図書館 来館おはなし会
保育所の子どもたちに



NEW

オリジナル絵本
第2弾作成



***朝読書(あさどく)**

小中学校全校で実施しています。

***読み聞かせ**

○小学校全校で、読み聞かせボランティアが活動しています。

○担任や学校司書、児童生徒（図書委員など）による、読み聞かせが行われています。

***学校司書 小中学校全校配置**
司書も自校でブックトーク

芸術文化のまちづくり

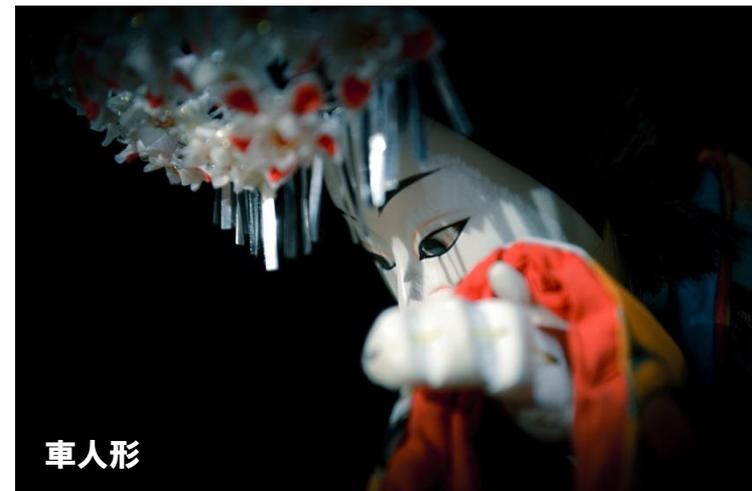
- ・ 住民が主人公となる芸術文化活動の推進
- ・ 学校や福祉施設等でのアウトリーチ活動充実



芸術文化は生きる力を育むこと

「(仮)芸術文化のまちづくり条例の策定

・芸術文化支援事業・ポータルサイトによる情報発信



教育環境の充実



学校の耐震化(平成25年で完了)



ICT環境の整備



学校図書館の整備・充実



町内全小中学校普通教室にエアコン設置



洋式トイレ整備設計

中央公民館・学校給食センター複合施設



中央公民館

子育てスタジオ、音楽スタジオ
キッチンスタジオ等特色のある
設備を備えた施設です

学校給食センター

安全安心して食べられる、おい
しい給食の提供

第5次総合計画 基本目標

安心安全で

幸せに

暮らせるまち

待機児童のゼロを目指して

木質化でぬくもりの第3保育所



待機児童数 1名(H30.4.1現在)

子ども・子育て支援

子育て支援センターの充実



児童館活動の展開



多様な保育サービス



ファミリーサポート事業



NEW

よみ愛ブックLOVE



子育てサポート

- ・ 出産育児一時金
- ・ 児童手当
- ・ こども医療費支給制度
- ・ ひとり親家庭等医療費支給制度
- ・ 児童扶養手当
- ・ 延長保育
- ・ 一時保育
- ・ 病児・病後児保育事業

子育て世代包括支援センター

妊娠期から子育て期にわたり、相談や支援をワンストップで行う。
⇒子育ての不安の解消、虐待防止



小地域福祉活動（住民の支え合い活動）と地区社会福祉協議会の取り組み

～ 三芳町の6つの地域で、住民同士の支え合い活動が始まっています ～



☆ 生活支援ボランティア
ちょっと助け隊

ゴミ出しや電球交換など、ちょっとした困りごとをのお手伝いをします。



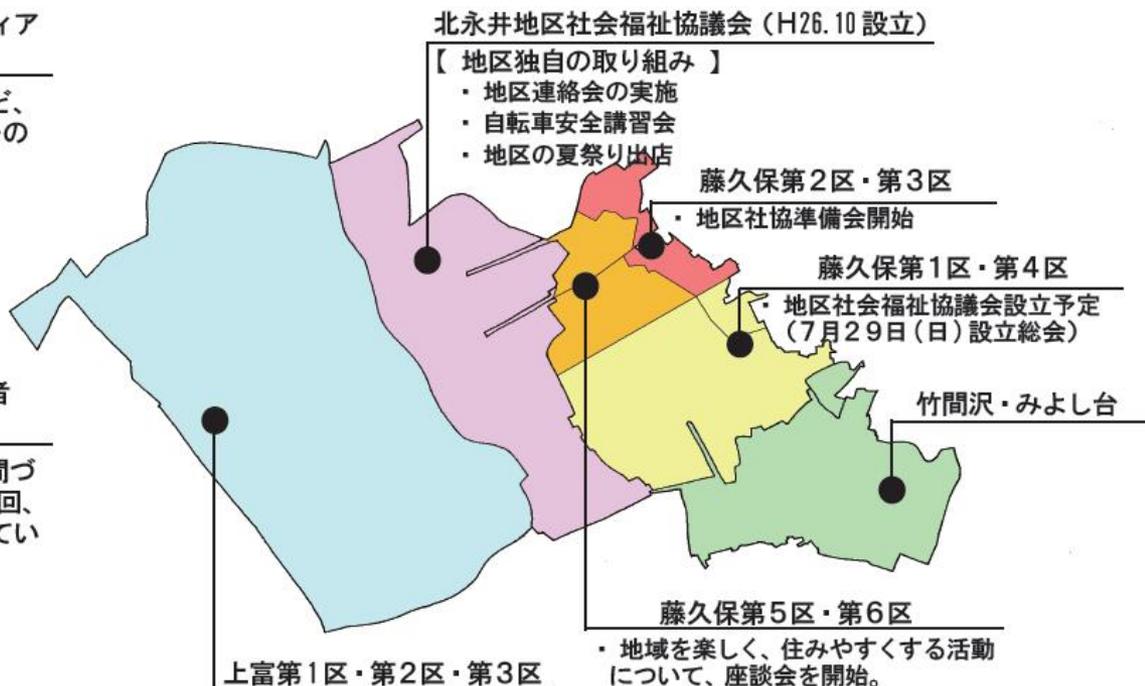
☆ ひとり暮らし高齢者
会食会

ひとり暮らしの方の仲間づくりの場として、月に1回、手作り会食会を開催しています。



☆ 福祉新聞の作成と
配達

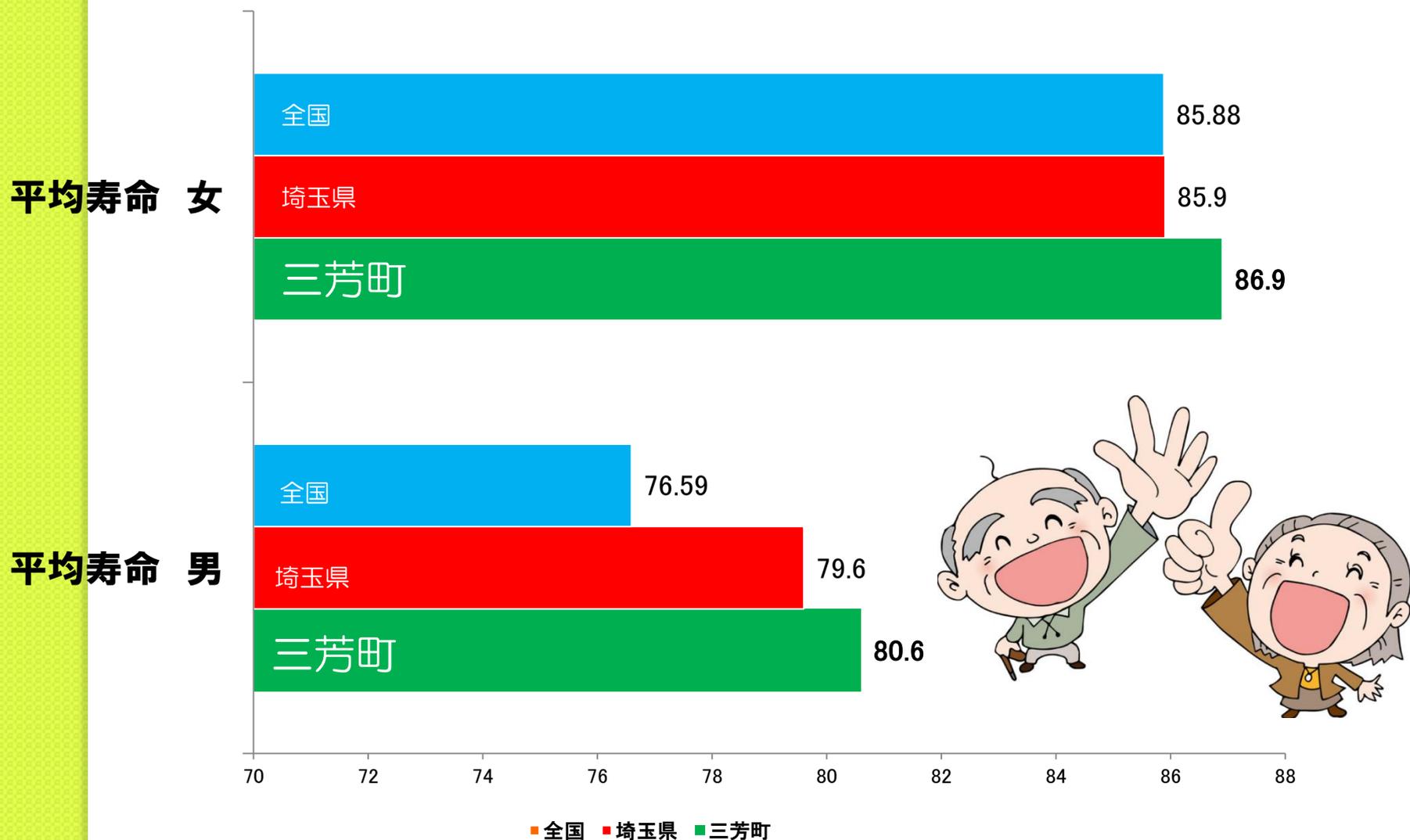
ひとり暮らしの方見守りとして、毎月地域で作成される福祉新聞をお届けしています。



☆ 地域の居場所
ふれあい・いきいきサロン

住民の方が気軽に集まれ、おしゃべりや趣味を楽しむ場として、町内30か所でサロン活動が行われています。

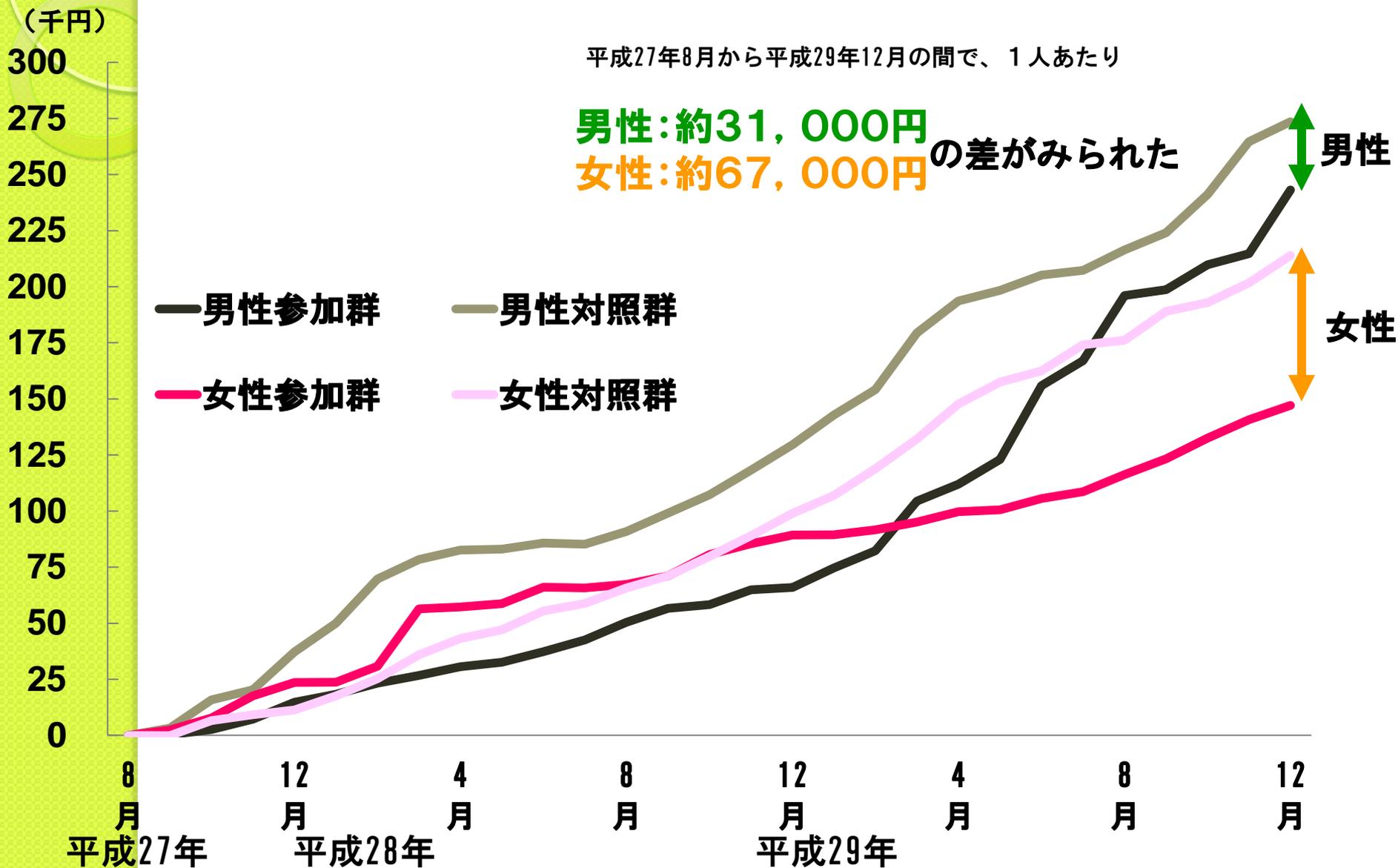
健康長寿



※ 平均寿命 男性 県内 2 位 女性 県内 3 位

健康長寿事業医療費（基準月からの差の累計）の変化（速報値）

※ 国民健康保険加入者を対象とした医療費の分析



手話言語条例制定

こころ豊かなまちづくりを実現
することを目的とし

- 手話への理解の促進
- 手話の普及
- 手話を使いやすい環境の整備



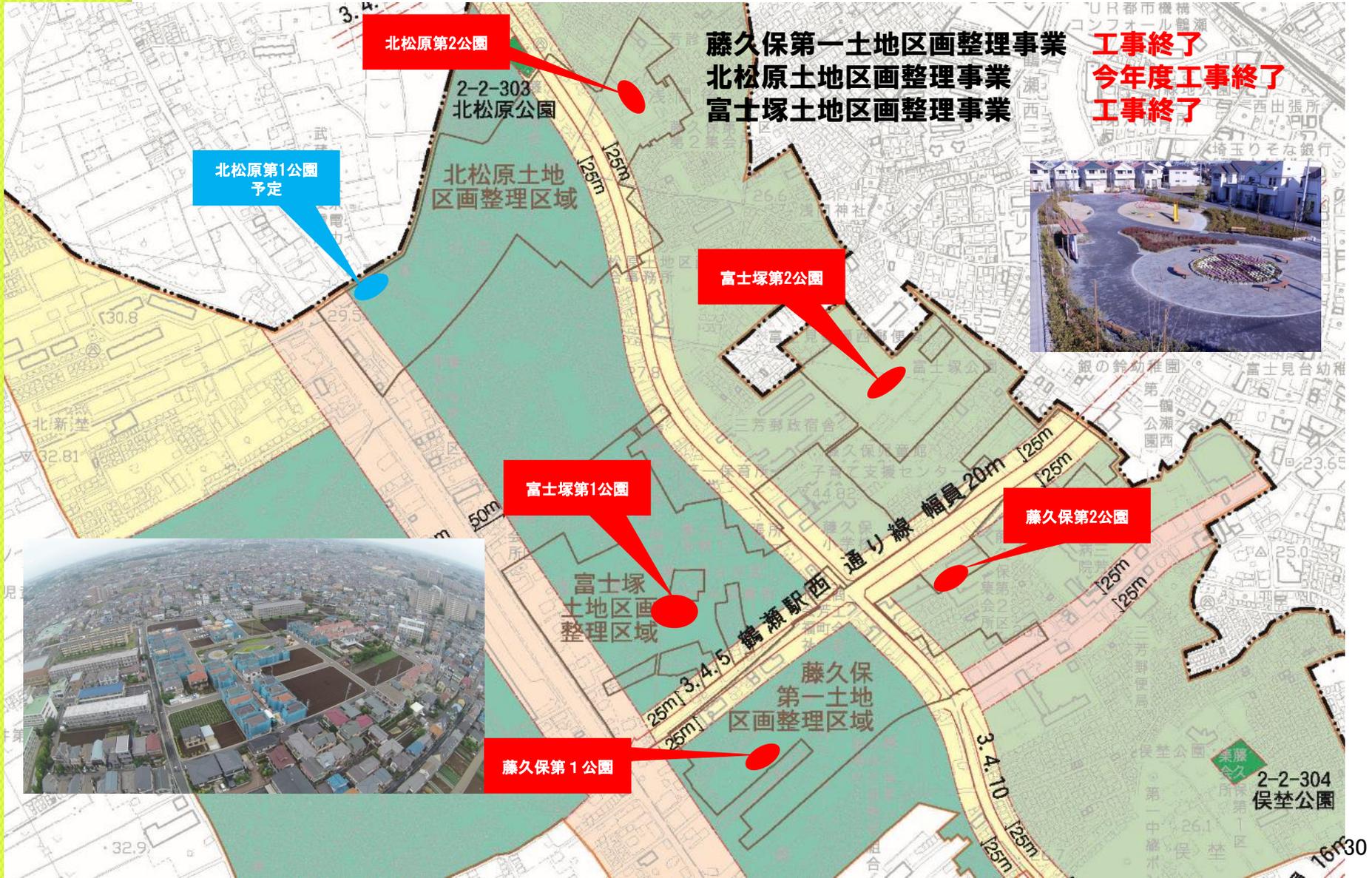
あいサポート運動

- 障がいのある人に対してちょっとした手助けや配慮を実践する。
誰もが暮らしやすい地域社会をみなさんと一緒につくっていく運動



安心安全の都市基盤整備

・ 3つの区画整理事業の完成へ



三芳町の公園へ

区画整理事業により多くの公園が整備されています。

藤久保第1公園



藤久保第2公園



北松原第2公園



富士塚第2公園



富士塚第1公園



鶴瀬駅西通り線開通

・都市計画道路の整備



鶴瀬駅入口交差点改良



スマートICフル化整備

・地域活性化・インフラ強化・観光振興・防災強化



（仮）三芳バザール賑わい公園構想

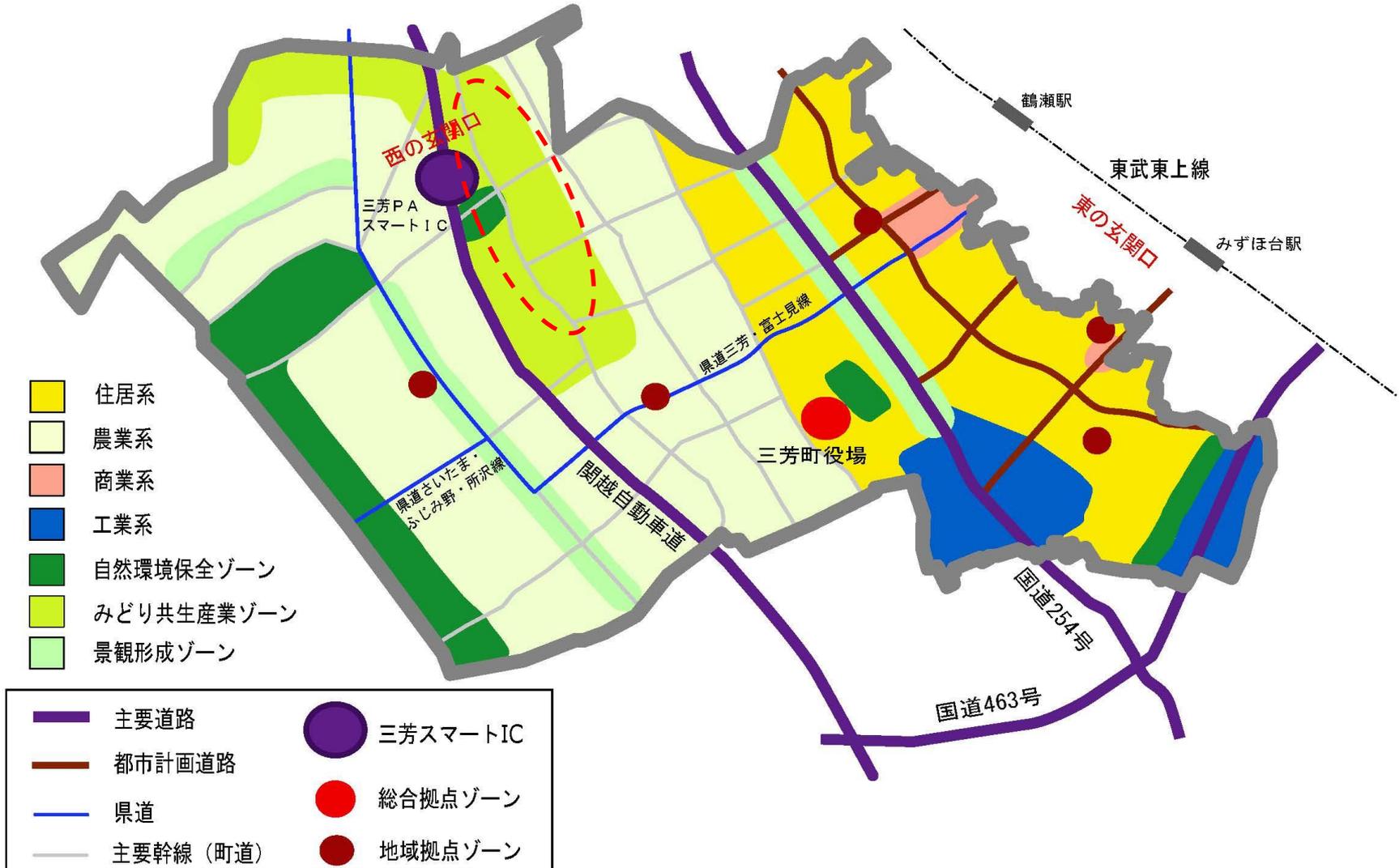
新たな拠点の創出に必要な諸条件等を整理した基本計画の策定を行う



企業誘致・留置

町道幹線3号線沿道「みどり共生産業ゾーン」

スマートICに近い町道幹線3号線沿線を促進する
エリアとした企業立地の促進



地域防災の強化

地域連携避難訓練の実施



防災行政無線デジタル化移行整備事業



被災者支援システムの導入



脱財政硬直化宣言

平成25年度 **約2億8,000万円**

町有財産の処分/人件費の見直し/老朽施設の廃止等

平成26年度 **約1億8,700万円**

受益者負担の原則の徹底/町有財産の処分/人件費の見直し/職員の定員管理等

第5次行政改革

平成27年度 **約7,100万円**

広告収入/ふるさと納税/使用料確保/人件費等の適正な執行等

平成28年度 **約3億2,800万円**

職員の定員適正化/報酬、報償等の見直し/繰出金の縮減等

平成29年度

職員の定員適正化/健全財政の推進等

第6次行政改革

平成30年度から平成32年度

企業誘致・留置/健全財政の推進/繰出金の縮減等/民間活力の導入等

効果額 約8億6,600万円
(平成28年度まで)

第5次総合計画 基本目標

緑と活力にあ
ふれた
魅力あるまち

👑 受賞歴

全国広報コンクール

2013年（平成25年）	組み写真部門	入選 3席
2014年（平成26年）	一枚写真部門	入選
2015年（平成27年）	広報紙部門	入選
	一枚写真部門	内閣総理大臣賞
	映像部門	入選 2席
2016年（平成28年）	広報紙部門	入選
	広報企画部門	入選
2017年（平成29年）	広報紙部門	入選
	広報写真部門	入選
	広報企画部門	入選

テレビ

2018.1.24	NHK あさイチ 『学習障害』
2017.5.15	日本テレビ news every. 『every 16時特集：自慢したい広報誌』
2016.8.11	NHK 首都圏ネットワーク 『全国自治体職員が三芳町に』
2015.7.20	フジテレビ ホウドウキョク 『日本一の広報誌 埼玉県三芳町』

Miyoshi
三 広報 みよし

号外
May. 2015
5/8

広報みよし日本一



内閣総理大臣賞受賞
写真・子育て特集・AR手話が高く評価

全国の自治体広報（広報紙・写真・映像・ホームページ・広報企画）の日本一を決める平成27年全国広報コンクールの審査結果が発表され、広報みよし11月号の表紙写真が「内閣総理大臣賞」を受賞し、日本一に輝きました。さらに、平成26年12月号が広報紙部門で入選、AR（拡張現実）で手話を学べる動画が映像部門で2席に選ばれました。埼玉県の町村部、関東1都8県の町村部が内閣総理大臣賞を受賞するのは史上初。埼玉県では平成11年の創市以来16年ぶりの快挙となりました。印刷以外のすべてを職員が行い、業者委託はゼロ。三芳町の広報が注目されています。

いいね三芳町

- ・自らの創意工夫により、優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与した市町村が授与する

三芳町

地方自治法施行70周年記念 総務大臣表彰受賞



緑のトラスト保全 第14号地



- ・ 森林の保全や散策路の設置
- ・ ネイチャーイベントなど体験事業

さいたま緑のトラスト保全地



保全地

第1号地	見沼田圃周辺斜面林	さいたま市緑区南部領辻	1. 1ha	第 8号地	高尾宮岡の景観地	北本市高尾	3. 5ha
第2号地	狭山丘陵・雑魚入樹林地	所沢市上山口	3. 4ha	第 9号地	堀兼・上赤坂の森	狭山市堀兼	6. 0ha
第3号地	武蔵嵐山溪谷周辺樹林地	嵐山町鎌形ほか	13. 5ha	第10号地	浮野の里	加須市北篠崎・多門寺	5. 4ha
第4号地	飯能河原周辺河岸緑地	飯能市矢おろし他	2. 3ha	第11号地	黒浜沼	蓮田市黒浜	6. 6ha
第5号地	山崎山の雑木林	宮代町山崎	1. 4ha	第12号地	原市の森	上尾市原市	3. 4ha
第6号地	加治丘陵・唐沢流域樹林地	入間市寺竹	12. 5ha	第13号地	無線山・KDDIの森	伊奈町小室	4. 8ha
第7号地	小川原家屋敷林	さいたま市岩槻区馬込	0. 7ha				

第14号地 藤久保の平地林 三芳町藤久保 3. 7ha

ふるさと納税寄附額



約 **2億1千万円** (平成29年度)

約 **1億3千万円** (平成28年度)

約 **4百万円** (平成27年度)



カタログ発行日 2016年3月

日本農業遺産

日本において将来に受け継がれるべき伝統的な農林水産業システムを広く発掘し、その価値を評価するため、農林水産省で認定。

世界農業遺産

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり形づくられてきた伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれた文化、ランドスケープ、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農林水産業システムを国連食糧農業機関（FAO）が認定する仕組み



環境クリーンセンター

・ごみ減量化と円滑なごみ収集



- ・ 熱回収施設
- ・ 高効率発電
- ・ リサイクルによってごみの減量化
- ・ 臭気漏洩防止（エアカーテン）

三芳町は、埼玉西武ライオンズのフレンドリーシティです！



オリジナル
フラッグ



ライオンズ応援団

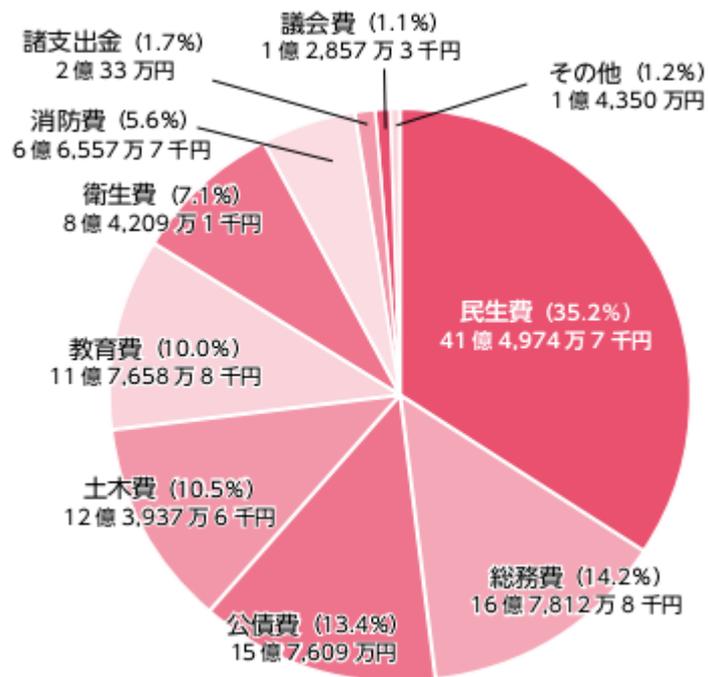


フレンドリーシティ感謝デー

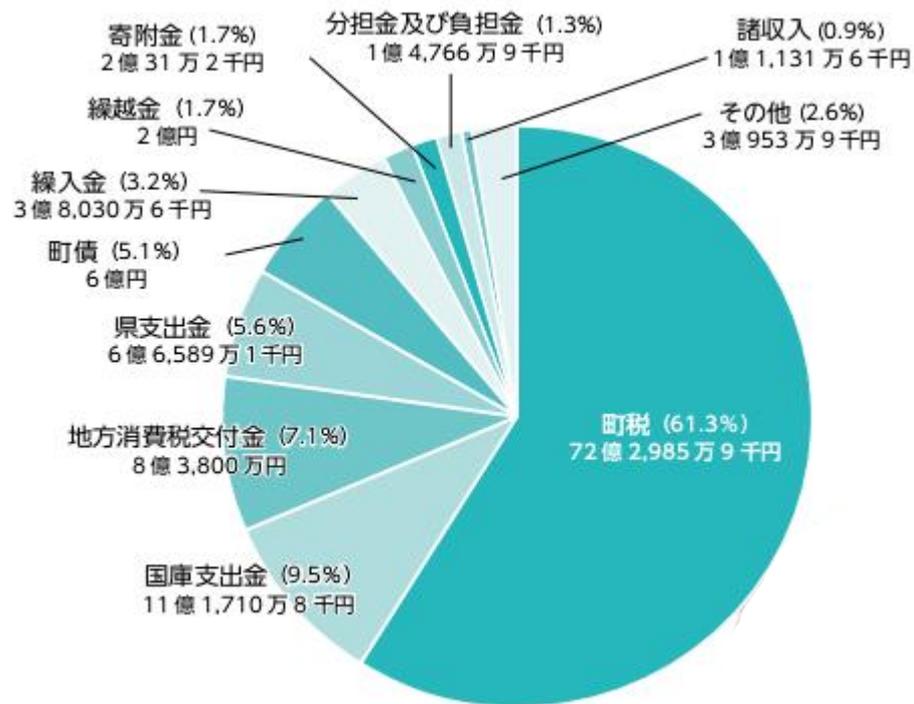
平成30年度予算について

平成30年度予算概要

一般会計の歳出



一般会計の歳入



平成30年度三芳町一般会計予算額

118億円

厳しい財政状況の中、限られた財源を活かし行政サービスを推進



“移動”の負担を軽減

公共交通補助

8,233千円

高齢者運転免許証自主返納支援制度

平成29年4月1日以降に免許を自主返納した75歳以上の方。

上限額 10,000円

・バス回数券・タクシー利用・交通系ICカードなど

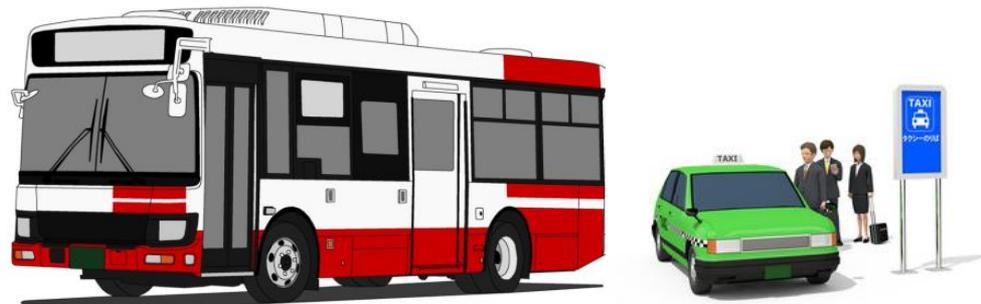
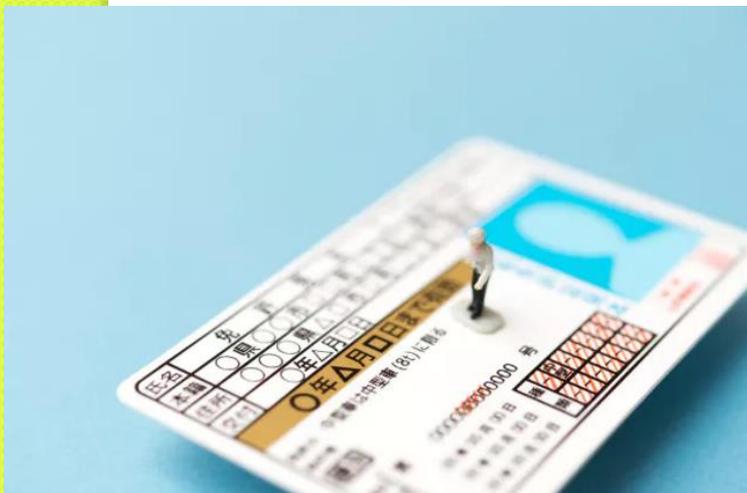
公共交通補助事業

75歳以上の在住者

(後期高齢者医療制度における現役並み所得者は除きま
す等諸条件あり)

上限額 5,000円

- ・ライフバス回数券
- ・タクシー利用





今後の町内の公共交通

ライフバス路線の再編

4,422千円



町内全体の公共交通をより便利に。
多くの方がバス交通を利用できるように。
バスが通っていなかった地域にバスを。

平成30年度事業



総合計画後期計画に向けて

住民意識調査の実施

726千円

第5次総合計画の中間年見直しに向けて調査を行う。



町の情報、災害時情報をタイムリーに伝達

テレビ埼玉データ放送事業

600千円

町のイベント、観光情報や災害や緊急時の情報発信

平成30年度事業



自転車安全利用条例に基づく交通事故防止事業

スケアードストレート(自転車安全利用促進事業)

378千円

スタントマンによる自転車事故現場の再現を通して、安全走行を訴える



きれいなまちづくり

まちかど花いっぱい推進事業

756千円

まちかどに花のある地域づくりに取り組み団体等への花苗の配布

魅力あふれ活力ある町の創造

住んでよかった

愛するふるさと三芳町

